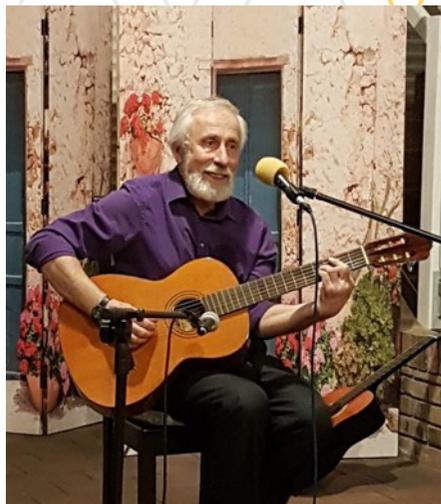


文化講演会（総合文化研究所「文化の多様性」プロジェクト）

ZAMENHOF kaj POSTNIKOV -- idealo kaj aventuro por la lingvo ESPERANTO

# ザメンホフとポストニコフ

～エスペラント語をめぐる理想と冒険～



## 【Mikaelo BRONŜTEJN】

1949年ウクライナ生まれのユダヤ人で、現在はロシア連邦レニングラード州チフヴィン市在住。トゥーラ大学でジャーナリズム、トゥーラ理工科大学で電気工学を学ぶ。電気技師を経て現在、木材伐採企業の役員。1962年よりエスペラント語を学び、仕事のかたわら、エスペラント語講座の指導、国際行事の組織、著作活動、演奏旅行など、エスペラント語を使つての文化活動でも幅広く活躍。40冊以上の本を出版している（長編小説4冊、詩集8冊、短編小説集2冊を含む）。自由に使える言語は、エスペラント語・イディッシュ語・ロシア語・ウクライナ語で、ポーランド語・英語・フランス語も堪能。歌手としては「アマチュア」を自認し、エスペラント語による自分の作詞・作曲作品や、歌詞をエスペラント語に訳したロシアの吟遊詩人の曲を、弾き語りしてもいる。

【講演と弾き語り】

## ミカエロ・ブロンシュテイン

ロシア在住のエスペランティストであるブロンシュテイン氏にエスペラント語の創案者ザメンホフとロシアにおける活動家ポストニコフについてお話しいただきます。エスペラント語による講演と弾き語りができる貴重な機会です。

日時：2019年10月15日（火）16:00-17:30

会場：東京外国語大学 研究講義棟 2階 226教室

主催：東京外国語大学 総合文化研究所

使用言語：エスペラント語（通訳付き）

通訳：佐々木照央（埼玉大学名誉教授）

\* 一般公開・無料・予約不要

お問合せ：沼野恭子研究室 [nukyoko@tufs.ac.jp](mailto:nukyoko@tufs.ac.jp)